

令和5年度第2回東郷町地域公共交通会議 議事録

日時 令和5年12月20日(水)

午後1時30分から午後3時20分まで

場所 東郷町役場2階 大会議室

出席者(敬称略・順不同)

	役職	所属等
1	会長	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
2	副会長	東郷町健康福祉部長(代理出席:高齢者支援課長)
3	委員	諸輪地区代表
4	委員	白土地区代表
5	委員	御岳地区代表
6	委員	名鉄バス(株) 運輸本部地域交通部地域交通課交通企画官
7	委員	瀬戸自動車運送(株) 取締役
8	委員	名古屋タクシー協会 専務理事
9	委員	愛知県交通運輸産業 労働組合協議会幹事(代理出席:幹事代理)
10	委員	国土交通省中部運輸局 愛知運輸支局首席運輸企画専門官
11	委員	愛知県都市・交通局 交通対策課担当課長(代理出席:主事)
12	委員	愛知県愛知警察署 交通課警部(代理出席:巡査部長)
13	委員	東郷町都市環境部長
14	委員	日進市生活安全部 防災交通課 移動政策室長
15	委員	みよし市都市建設部 都市計画課長
16	委員	豊明市行政経営部 企画政策課長

欠席者 4名(祐福寺地区代表、和合ヶ丘地区代表、公益社団法人愛知県バス協会、愛知県尾張建設事務所)、傍聴者 11名

1 会長あいさつ

- ・本日は、事業の振り返りである。皆さんと一緒にやってきた一年間の自己評価と、令和3年に策定された地域公共交通計画の中間評価を行う。新型コロナウイルス感染症もあり、公共交通にとっても暗い時期ではあるが自己評価をしながらこの先を見ていきたい。

2 議題

- (1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について（資料1-1、1-2）

【事務局説明】

<愛知運輸支局>

- ・資料1-1 フィーダー系統確保維持改善の事業評価中「⑤目標・効果達成状況」において、「計画記載の目標値には到達しなかったものの、昨年度実績から増加している。」とあるが、増加の要因として町の公共交通施策の実施による効果が見込まれるのであれば、記載した方が良い。
- ・資料1-2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）について、課題整理まで至っていないのか。年度末までに計画の改定をしなければならないが、スケジュールは間に合うのか。3月までに計画策定をするというところまで記載して欲しい。

<事務局>

- ・利用者は全属性で底上げされている状態である。分析を進め、イベントの実施により利用者が増えたのであれば、利用促進の効果として追記する。
 - ・課題の整理については評価時点で記載している。今回の会議を含め、残りの会議で委員の皆様の見解を伺い、課題を整理し計画見直しを進める旨を追記する。
- ※議題(1)について、委員の承認を得た。

3 その他

- (1) 東郷町地域公共交通計画における中間評価について（資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5）

【事務局説明】

<諸輪地区代表>

- ・町民アンケートが我が家に届かなかった。3,000人の調査対象で、この調査の信頼性は確保できているのか。

<事務局>

- ・各地区100件以上の回答は得られており、調査数3,000で信頼性は確保されている。

<諸輪地区代表>

- ・アンケート結果から、じゅんかい君東コースの満足度は、便数・運行間隔の項目で不満に思われる方が8割、南西コースでは9割もいることがわかる。通常、路線の再編は住民の不満を少なくするために行うものだが、令和3年の再編により逆に不満が著しく増大し、不便な路線が2路線もできてしまった。この再編はどのようなものだったのか。

<事務局>

- ・令和3年の再編は、平成29年にバス利用者アンケート、平成30年には住民アンケートを実施し、皆様からの意見を基に路線再編の素案を作成した。平成31年に素案を各小学校区単位で意見交換会を実施し、素案を修正、さらに令和元年にはタウンミーティングを実施し、最終的に令和元年及び令和2年の地域公共交通会議での協議を踏まえ令和3年4月1日から現在の路線となった。
- ・これらアンケートや意見交換会、公共交通会議での協議の結果、決定された令和3年の再編の方針は、「バスターミナルの発着と結節、近接する鉄道駅との乗入を軸に既存の民間バス路線を含めた全体のバランス及びこれまでの巡回バスの利用状況等を加味して設定する。」というものであり、この方針のもと路線が決定されている。

<諸輪地区代表>

- ・単に意見を多く聞いたことはわかった。一体何を聞いていたのか。全体のコンセプトは理解したが、東コースでは具体的にどのような再編だったのか。

<事務局>

- ・西、北、南北コースの3路線あったのを南西、北、東コースとした。諸輪地区を経由する路線は、再編前は北コース及び南北コースがあり便数が多かったが、再編後は東コースとなり減便している。

<諸輪地区代表>

- ・再編前の諸輪を経由する路線のうち、南北コースは5便/日あったが、廃止された。また、旧北コースは平日で9便/日あったが、現在の東コースでは半減した。今年3月から区長をしているが、コミュニティの中心である諸輪公民館から役場までの便が3時間に1本となり、行政サービスが受けにくくなったという声を数人の方から聞いている。諸輪を回る便を減少させ、その分の資源を北コースに分配した再編とした結果、現東コースの不満が大きくなっていることに対して、町は今後どのような取り組みをしていくつもりなのか、町総務部長に伺いたい。

<総務部長>

- ・今回の中間評価で本町の公共交通、とりわけじゅんかい君の課題が明らかになった。じゅんかい君で町内を満遍なくサービス提供していくことは非常に難しいことであることは、この会議の中でも共通認識として委員と共有してきた。本町の公共交通をより良くするためには、じゅんかい君だけでなく他の公共交通を含め、町民の皆様の移動手段を確保、利便性の向上を図っていかなければならない。点ではなく全体を見

て今後を見立てていかなければならない。そのために一定の時間を要することについてご理解いただきたい。個々の課題の改善も踏まえ、町の公共交通の仕組みがいより良いものとなるよう委員の皆様にご意見ご提案をいただきながら各種取組について検討して参りたい。

<諸輪地区代表>

- ・会長の意見はどうか。再編で満足度が向上せず逆に悪化するとは、一体何をやっているのか。

<会長>

- ・個別の「諸輪」或いは「東コース」といった話ではなく、我々が立てた目標について中間評価で「×」となっているのは「じゅんかい君の満足度（不満割合）」で、令和2年の19.3%以下の目標に対し令和5年実績値では残念ながら29.8%だった。これを我々は課題として認識する必要がある、ここを深掘りしていく中で何を今後やっていくかということが今回の中間評価であり、公共交通計画の見直しである。今回の計画見直しについては、資料10頁に不満割合の増加について記述している。目標を達成するためのアクションが必要であり、同頁の公共交通計画改定後の実施事業例に記載している内容で、本当に不満度の減少につながるのかということ、まだ十分でない。したがって今回のアンケートを深掘りし、良い方向へ向かうような内容を組み込む必要がある。
- ・満足度不満度という点では、必ずしも再編したからと言って向上するとは言えない。令和3年の再編は、効率的な再編をするということで、利用者が多い北コースはサービス水準が向上した一方、利用者が少なかったところはサービス水準を下げ、ある程度満足度が下がってもやむを得ない、というのが再編の方針だった。しかし、コースにより満足度に大きな差がある現状は、各コースに対し何らかの対策を考えなければならない。ただし、単純に便数を増加させることは限られた資源、財源の中では無理である。どこかのコースの利便性を良くすれば別のコースで悪くなるということしかできない。課せられた制約の中でそのバランスを皆様とともに考えていきたい。全ての地域で利便性を上げることできない。町全体でどうするのかということを考えねばならない。そして今回の計画（中間）見直しでその方向性を書き込みながら、やれることがあればやるし、大きな見直しができないのであれば、まずは利用者の意見を聞きながらやれることをやるということになる。

<諸輪地区代表>

- ・利用の多いところはより厚くし、そうでないところは減らしていくという方針は到底納得できない。地区を切り捨てる方針は、そこに住んでいる人の生活を考えていないもので不満である。

<会長>

- ・それは前の（R3年再編）方針であり、この場で皆で決めたことである。全てをじゅ

んかい君で賄うという考えは改めた方が良い。バスに相応しい需要があるところはバス、バスに相応しい需要が無いところは新たな交通手段で移動ができるという環境を整える方が良い。その一環としてデマンドタクシーを運行している。ただ、デマンドタクシーもまだ周知が十分されていなかったり、使い勝手が悪かったりという声があるので、そこを改善するというのが一つの方法となり得る。また、じゅんかい君としては効率性を重視したものとしたが、それは決して地域の交通手段を切り捨てるという意味ではない。

<諸輪地区代表>

- ・中間評価の指標に利用者数とあるが、数を求めるのであれば人口の多い地区を回ればよいだけの話である。乗降数の多い路線は民間にまかせ、じゅんかい君は福祉目的とし、利用者の少ないエリアを回るべきである。再編から3年が経過したが、今すぐにも再び路線再編して欲しい。

<会長>

- ・意見として伺う。この指標自体も3年前に皆さんで決めたものである。利用者数によらず津々浦々皆さんが移動に困らないような指標を作ってはどうかという意見があったが、そういう意見が多ければ指標を見直すこともあり得る。また、満足度については問題があると認識しているので、先ほどの10頁の地域公共交通の改訂について満足度を向上させる何らかの方策を記載しなければ、我々のPDCAが回っていないということになるので、皆さんで考えていきましょう。

<事務局>

- ・令和3年の再編については、町民からのアンケート、意見の結果であることをご理解いただきたい。また、事務局としても今回の調査結果に表れているように利用者の不満割合が大きくなっていることを理解しており課題として認識している。一方で、再編の難しさも感じており、今後大きく再編をしてしまうと、「利便性を下げることになる路線」を現在利用している方の生活が崩れてしまうことになり、需要の大きい路線であるほど影響が大きいため、慎重に考えていきたい。そこで、満足度向上のための方策について委員の皆様から意見を頂戴したい。

<愛知運輸支局>

- ・10頁の東郷町地域公共交通計画改定後の実施事業例に記載されている内容は、今回の中間評価を受け、事務局として必要と考える取組を記載しており、これを中間見直しとして公共交通計画の改訂に反映させるということで委員の意見を聞きたいということの良いか。

<事務局>

- ・今回提示したのは事務局案であり、これで決定というものではない。今回報告事項として提示させていただき、委員の意見を伺いながら次の協議に向け検討、改訂していきたい。

<愛知運輸支局>

- ・アンケート結果の中で、公共交通計画に基づくじゅんかい君の再編自体を知らない人が5割以上いる。また、バスロケの導入は9割、デマンドタクシーの運行についても多くの人知らない状況であるため、まずは再編内容や公共交通計画に基づく取組内容を周知する必要がある。自治体の公共交通施策やそれに割ける資源、昨今の交通事情等を町民に知ってもらい、理解を深めてもらい、ある程度の許容或いは我慢することについて合意形成を図ることが必要である。
- ・じゅんかい君の満足度が低い路線があるという話だが、満足度の低い路線を利用している人は我慢しながら利用しているものと思われる。今回のアンケート結果を踏まえながら考えていかなければならないが、単純に満足度の低い路線を増便してしまうと別の路線の満足度に影響を与えることになってしまう。タクシーや民間バス路線を含めた公共交通機関全体として満足度を向上させる取組が必要である。

<諸輪地区代表>

- ・前回の再編から3年が経過した。また3年待ち6年後に再編ではなく、今再編をお願いする。

<白土地区代表>

- ・一定の数値を設け、その数値以上に不満等の割合が多ければ見直し、少なければ受忍するというような指標があってもよい。

<御岳地区代表>

- ・採算も勿論重視しなければならないが、地域に住む人の意見や再編時期も考慮し決めて欲しい。

<会長>

- ・地域の声を聴き、やれることをやったらどうだということである。そうすると今度は北コースを減便するということになり、北コースの利用者からの不満の声が出ることになる。町全体として何がふさわしいかということをお客様で議論いただかないといけない。じゅんかい君だけでなく他の手段を上手に使いながら生活に困らないような移動ができるのが望ましい。住民の方、特に高齢者からすると、じゅんかい君は無料で乗車できるということが大きいと思う。そういう意味では、実施実現性はともかくとし、他の交通手段も安く利用できる手立てを考えるというのも一つの方法である。また、近隣自治体では「共助」の取組もできてきている。ライドシェアという新しい仕組みもできてきている。じゅんかい君に拘らず視点を広げ、本当に必要な交通手段は何なのかについての議論を始めてもよいのではないかと。或いはその議論を始めるための枠組を作るということを今度の計画見直しに入れるということもあり得るのではないかと。限られた財源、限られた資源の中でやれることを皆で知恵を出し合うという時代に入っている。財政的に恵まれているある市でも「共助」を全面的に出している。これからどのように共助の仕組みを導入していくのか、或いは住民から共助をしたいか

ら支援して欲しいとの声も出てきている。一方、東郷ではそのような話は出てこない。それぞれの自治体の特性もあるだろうが、全体的には共助の流れがある。いずれにしても今の住民の意見を踏まえながら実施事業について考えていかなければならない。

<事務局>

・今回頂いた意見をもう一度練って、次回の会議に改訂の実施事業例を再提示する。

<会長>

・次回会議の前までに委員の方から中間見直しについて、こんな事業を位置付けたらどうかという具体案を事務局に提示して欲しい。特に満足度を向上させるものについて是非提示して欲しい。

(2) ららぽーと愛知東郷におけるサイクル・アンド・ライドの実証実験について(資料3)

【事務局説明】

(3) 公共交通に関する各種イベントの報告について(資料4)

【事務局及び愛知県交通対策課による説明】

(4) その他

ア 東郷町バス運行事業実施事業者選定委員会開催報告

【事務局説明】

イ MaaS 実証実施(My route)について

【愛知県交通対策課説明】

以 上